

国語科における昨年度の授業改善推進プランの検証

- ・教科として目標値を7ポイント上回り、前年度よりも0.8ポイント上昇している。基礎は目標値を6.8ポイント、活用は7.7ポイント上回っているので、基礎知識がほぼ定着しているといえる。
- ・「漢字を書く」については目標値を上回っているものの、他の内容別正解率と比較すると正解率が低く、特に改善が必要である。
- ・「説明文の内容読み取り・地域交流会に向けて話し合う」は特に大きく目標値を上回っている。
- ・「漢字を読む、文法・語句に関する知識、作文」についても目標値を上回り、継続指導により伸ばしていくことが必要である。
- ・「話の内容を聞き取る」は目標値を4.8ポイント下回り、日々の授業等を通して改善が必要である。

国語科における調査結果の分析

内容別の結果分析	<ul style="list-style-type: none"> ・「話の内容を聞き取る」は目標値を4.8ポイント下回っていた。前年度も目標値を下まわっており、放送内容を聞き文全体を正しく書き直すことに課題がある。無記入も目立つ。漢字については「読み」に比べ「書き」の正解率が低く、無記入もある。小学校で学習した漢字を書けるようにするための練習方法や応用などの学習が必要である。 ・「文法・語句に関する事項」については、修飾語についての理解が目標値を下回り、文法や語句の学習が必要と思われる。 ・「作文」に関しては、3段落構成で文章を書くことが苦手で、無記入もある。ある条件下で文章を書く機会を多く取り入れている必要がある。
観点別の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・「関心・意欲・態度」は目標値を2.8ポイント上回っているが、他の観点と比べると正解率は低い。 ・「書く能力」は目標値より8.8ポイント上回っており、概ね良好と感じられるが、「文章の内容に沿ったまとめを書く」ことが特に目標値を下回り、継続的に「書く活動」を取り入れることが必要である。 ・「話す・聞く能力」は目標値から0.6ポイント、領域別正解率でも1.7ポイント低く、「話の内容を正確に聞き取ることができる」が20.3ポイントと著しく低い正答率だった。

調査結果に基づいた授業改善のポイント

- ・「話す・聞く能力」
 - 「聞き取りテスト」「スピーチ」「グループ発表から全体での発表」「暗誦」などの活動を单元ごとに取り入れ、授業中に発表の機会を多くもつことで、言語活動を充実させる。正確に聞き取り、「話す」ことで伝える言語活動を積極的に行い、自分の意見を述べさせる。
- ・「漢字の読み・書きの能力」
 - 単元の漢字テストを継続的に行う。新出漢字、新出音訓は一単語で複数回練習させ、点検を行いながら、書いて覚える習慣を身に付けさせる。また、漢字自体の組み立てや意味を辞書など使って理解させ、短文を作ったり、日常生活で使われる文脈の中で押さえることで、語彙としての定着化を図る。
- ・「様々な形態の文章を書かせる」
 - 感想文、鑑賞文、意見文、批評文や手紙など、様々な場面や目的に応じた文章を書く活動を行う。言葉の選び方、語彙の活用、書き方の決まりを学び、辞書を使いながら書く習慣を身に付けさせる。
- ・「文章の読み方」を定着させる
 - 説明文、文学作品、随筆、古文などそれぞれの読み方や観点、用語を理解し、内容を的確につかむ力を付けさせる。要約、表にしてまとめるなど、ノートを使い方にも工夫をしながら、読む力をつけさせる。

令和元年度 授業改善推進プラン〈2年国語〉

国語科における昨年度の授業改善推進プランの検証

- ・教科として目標値を7.4ポイント上回ったが、前年度を1ポイント下回った。基礎問題は前年を上回ったが、活用問題において5.2ポイント下回った。基礎知識の応用に力を入れる必要があると考えられる。
- ・「漢字の読み・書き」は「書く」ことに継続的に力を入れさせる。
- ・「話す・聞く能力」については目標値を上回ったが、授業内での発表や発表の聞き取りを通して、言語活動に慣れさせたい。
- ・「書く能力」については目標値を10.6ポイント、前年を0.7ポイント上回ったが、継続的に「書く学習」を行うことによりさらに力をつけさせたい。

国語科における調査結果の分析

内容別の結果分析	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての内容において目標値を上回った。 ・「漢字を読む」については、画数の多い漢字が苦手であると思われる。 ・「漢字を書く」については、目標値を0.3ポイント上回っているが、漢字の訓読みの書き取りの正答率が低い。 ・「文法・語句に関する事項」については、漢字の部首についての理解が、目標値を6.4ポイント下回った。漢字の組み立ての復習が必要と思われる。 ・「作文」に関しては、すべての項目において目標値を上回っており、書くことに抵抗がなく、それぞれが問題に対してしっかり取り組めたことがうかがえる。
観点別の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・「関心・意欲・態度」は目標値を7.9ポイント上回っているが、前年度よりは2.1ポイント下降している。 ・「書く能力」は目標値を10.6ポイント前年を0.7ポイント上回っている。「文章の内容を正確にとらえ、伝えたい事柄を明確にして書く」練習が必要と考えられる。 ・「話す・聞く能力」は目標値を7.7ポイント上回っているが、前年度を3.4ポイント下回った。「司会者や相手の話を注意深く聞き、自分の考えをまとめる」練習が大切だと考えられる。 ・「読む能力」は10.5ポイント、「知識・理解・技能」は3.4ポイント目標値を上回った。

調査結果に基づいた授業改善のポイント

- ・「話す・聞く能力」を更に伸ばす。
 - 「音読」「スピーチ」「暗誦」などを行い、授業中に発表の機会を多くもつことで国語は言語教科であることを意識させる。他人の発表は注意深く聞いて評価するようにさせる。
- ・「漢字の読み・書きの能力」を定着させる。
 - 毎時間、小学校の漢字をノートに書いて復習し、定着をはかる。同時に、部首や熟語を意識させる。
- ・「文章を書く機会を増やす」
 - 授業の内容に従って、自分の考えを書いたり、登場人物について読み取ったりして、文章を書くことになれる。日常生活とのつながりを意識させる。
- ・「文章の読み方」を定着させる
 - 説明文、文学作品それぞれの読み方や観点・用語を理解し、内容を的確につかむ力を付けさせる。全体の構造をとらえると同時に一つ一つの言葉を丁寧に読み取らせる。

国語科における昨年度の授業改善推進プランの検証

- ・どの項目においても目標値、全国の平均を上回っている。昨年からの授業改善が活かされているように思われる。
- ・「話し合いの内容を聞き取る」項目については、90%以上に達し、成果が明らかになっていたと思われる。
- ・「言語についての知識・理解・技能」については目標値を上回っているが、他の項目より低くなっているため、継続的に指導を続けていく必要がある。

国語科における調査結果の分析

内容別の結果分析	<ul style="list-style-type: none"> ・全領域において目標値を上回り、前年度よりも上回っている。 「話の内容を正確に聞き取る」項目の中の「反論することができること」に関しては、前年度より下回り、聞き取ることはできるが、そこに対して自分の考えを深めるということがまだ不足しているようである。 ・「漢字の読み・書き」は目標値を上回っているが、これまでに学習してきたものの中で、まだ定着できていないものがあるということがわかった。そのため、3学年で学習する漢字も含め、継続的に学習していく必要がある。 ・「説明文の内容を読み取る」の中では、「文章構成や展開を捉える」についても目標値を上回っているが、他の部分に比べ、正答率は低いため、説明文の学習に時間を割くことが必要不可欠であると考える。 ・「文学作品の内容を読み取る」でも、目標値を上回っている。特に「心情の変化」が目標値より高く上回っており、今後も継続して文学作品の内容理解に努めていきたい。
観点別の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・「国語への関心・意欲・態度」は目標値を+12と上回っている。今後も学習に対して、意欲を高めながら授業を展開していくことが必要である。 ・「話す・聞く」に関しては全体的に良くできている。その中でも、「話し手の工夫を聞き取ることができる」という項目が+20以上上回っているので、話を聞くという観点についてはこの1年で伸びていると考えられる。 ・「書く能力」、「読む能力」、「言語についての知識・理解・技能」も目標値を+10以上上回っている。授業の中で、書く時間、読み解く時間をきちんと取り、今後も継続できるよう指導していきたい。

調査結果に基づいた授業改善のポイント

- ・「漢字の読み書き」に関しては、日常的に使っていく中で、きちんと書き間違い、読み間違いがないか確認をしていく。漢字テストなどを活用し、幅広く振り返りを行う。
- ・「書く力」を伸ばすために、時間を区切り、短時間でテーマに沿って書けるようにしていく。
- ・「読む力」については、人物の心情の読み取りや場面の展開など、項目ごとに作品をしっかりと読み取れるように授業を展開していく。
説明文では、筆者の意図や文章の展開などを読み取る時間を増やし、理解を深めさせる。
- ・「話す・聞く」では発表を行ったり、他者の意見を参考にしながら自分の考えを深めるなどを、全体、グループ学習などで行っていく。